

国保税 大幅値上げ

夫婦と子ども2人の4人家族。自営、所得254万円の場合

	現在	H22年度	値上げ額
所得割	225,044	277,368	+52,324
均等割	135,600	165,400	+29,800
平等割	28,900	37,500	+8,600
合計	389,544	480,268	+90,724

国保3税(医療分、後期高齢者医療分、介護保険分)年間合計

平均30%を超える国保税の大幅値上げが提案されています。値上げの条例改正案と国保会計予算案は予算特別委員会と総務常任委員会で審議がおこなわれました。議案は共産党市議団以外の議員が賛成しました。25日の最終本会議で採決されます。暮らしが本当に大変な時です。こんな値上げは許されません。各議員の態度が問われます。

払いたくても払えませぬ

それだけでなく、払いたくても払えない「高い国保税」です。加えて今回の大幅値上げは許されませぬ。

そもそも国民健康保険は無職の年金生活者を始めとして失業者や零細業者など所得の低い層を対象にしています。それだけに国民健康保険法でも社会保障制度として位置づけられています。この加入者に更なる国保税の負担強化は暮らしや命・健康を破壊しかねませぬ。

国保会計への繰り入れ減額で一層、高い国保税の値上げに

高い国保税の大本の原因は国保会計に対する国庫負担金を減らし続けてきたからです。もともと45%の負担を今では38%まで減らしました。

加えて野洲市も国保会計への繰入を減らします。これまで「一般会計事業」として実施していた福祉医療波及分(医療費の無料化制度の影響額)を国保会計に繰り入れをしていました。ところが、「集中改革プラン」で繰り入れを減額。このため値上げ案は一層高くなりました。

本来の社会保障制度としての国保制度の立場に立ち、「金の切れ目が命の切れ目」になるような大幅な値上げはやめ、市民の暮らしと命を守るべきです。

共産党市議団 「国保への国庫負担増額」「企業団体献金禁止」の意見書を提案

3月議会に共産党市議団として、「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書」「企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」を提案しています。

「国保への国庫負担を求める意見書」は、国が減らし続けた国民健康保険への国庫負担増額を求めたものです。また、政治と金の問題では、政治を歪める大本の「企業団体献金の完全廃止をすべき」と求める意見書です。この意見書採択へがんばります。

25日が最終本会議です(午後1時から)

3月議会は25日が最終日です。午後1時から開催されます。市長提案の議案及び意見書の討論・採決が行われます。どなたも傍聴できます。ぜひお越しください。



日本共産党演説会 5月29日(土)午後3時 大津市・びわこホール

市田忠義 日本共産党書記局長がお話します

参加のお問い合わせは下記の議員までご連絡ください



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年3月21日 196

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
野並享子 (電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
太田健一 (電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.wor1d21@docomo.ne.jp

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>